

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・旧盆の山場に台風の影響で交通機関の計画運休等があり、帰省客や観光客の行動に大きなダメージがあった。しかし、人の動きも全般的に回復し、新型コロナウイルス感染症発生前のような客の動きとなった。
	◎	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・台風などの悪影響を受けることも少なく、猛暑による飲料販売の好調さが全体的な好調につながった。前年と比べても人の動きは多くなっている。
	◎	コンビニ（店長）	来客数の動き	・外国人などをよく見掛けるため、インバウンド需要が回復している。
	◎	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	来客数の動き	・来客数は安定してきたが、引き続き物価高の影響があるため、購買の動きとは余り比例していない。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊は、稼働の浮き沈みが激しいが海外からの宿泊客も増加傾向にある。レストランは夜が悪い。宴会客が戻りつつあるが、予約期間は短い傾向にある。
	◎	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後に団体旅行の問合せが増えたが、9月下旬頃から順々にその旅行の出発日を迎え、数字として成果があがる時期である。
	◎	タクシー運転手	お客様の様子	・最近では、他地域からの旅行者やインバウンドが結構な人数になっている。新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和されイベントが以前のように開催されるようになったため、移動にタクシーを利用する客が増えている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・インバウンドを含め来客数が増加している。
	○	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・9月はイベントのシーズンで、前年まで中止されていたイベントが復活しているいろいろな記念品等が動いている。コロナ禍での規制が無くなったことや物価上昇をある程度受け入れていることで、客の動きが少し良くなった。客に購買意欲が出たことと行動が自由になったことが大きなポイントとなった。
	○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・9月は連休もあり、お盆の時期に近い来客数で売上も好調に推移した。インバウンドは中国からは少ないものの韓国や欧米などを中心に引き続き好調に推移し、全体としては大きな影響はなかった。下旬以降は朝晩を中心に涼しくなってきたこともあり、秋物が動き出して衣料品、雑貨や化粧品なども好調に推移した。また、各種商品値上げが全体の売上を押し上げる要因にもなっている。
	○	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・前月に引き続き、催事やレストラン部門の売上が好調に推移している。
	○	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・店舗への来客数が増えており、特に食品や衣料品への関心が高まっている。一方で、家庭用品やギフト品の需要が減少している。
	○	百貨店（販売担当）	単価の動き	・来客数は増加している。高単価商品の稼働はここ2～3か月増加傾向にあり、客単価が上がっている。一方、インバウンド需要は少なく、期待した結果は得られていない。
	○	コンビニ（店員）	販売量の動き	・ファーストフードの増量セールがあり、売上が好調だった。パスタやパンの売上も前年を上回っている。
	○	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・売上は前年比105%と好調であった。小売業を展開する上で水道光熱費の値上げ等、経費負担が重荷になっていたが、その負担を売上でもかなうことが夏季シーズンはできており、利益捻出に成功している。売上が好調で客の購買力に一定のポジティブな要素を感じるため、景気は3か月前と比べ良くなった。
○	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・1日の売上目標が3か月前と比べて高くなっている。毎日達成できているわけではないが、ほぼ達成に近い状態で推移している。3か月前と比べると目標も上がっているなかで、3か月前の目標は達成して現時点での目標には少し足りない状況なので、良い方向に向かっている。	

○	乗用車販売店 (経営者)	来客数の動き	・9月に入って客の動きに変化が出てきた。納期も早まりつつあるため、それも要因として挙げられる。
○	その他専門店 [貴金属] (経営者)	来客数の動き	・毎年恒例のイベントに多くの客が来場し、前年よりも売上が増加した。
○	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・7月以降に外出や旅行等が増え、外食の機会も増えている。ただし、9月は若干落ち着いた状況であった。
○	その他飲食 [仕出し] (経営者)	お客様の様子	・株価が上がっているなど何となく心理的には良く、雰囲気は悪くない。
○	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・コロナ禍の収束に伴い個人客の利用が回復傾向にあったが、これに加えビジネス客の利用も増加してきた。
○	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・法人宴会、インバウンドに伴う宿泊、株高でのレストラン利用など追い風が吹く状態が継続している。しばらく継続することを期待している。
○	旅行代理店 (経営者)	来客数の動き	・3か月前より景気は良くなっている。来客数の変化が顕著である。
○	旅行代理店 (営業担当)	販売量の動き	・旅行業界は、急激に新型コロナウイルス感染症発生前の旅行需要が戻ってきている。団体旅行の申込みも増えており、仕事量は新型コロナウイルス感染症発生前以上に増えている。この状態はしばらく続くと見込む。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・午前中と夕方が多忙である。日中も暑いため利用客は多い。歓楽街での深夜の利用客が思ったほど戻らないが、涼しくなれば深夜の利用客も増える。
○	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・夏の暑い時季が過ぎてインバウンドが好調である。
○	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・8月の来客数は前月比84%、目標比87%であったが、9月のイベント開催1週目は目標比70%、2週目が121%であった。気候も涼しくなったおかげで人出が多くなった影響も大きい。
○	ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・9月の入場者数は前年と比べ好調であるが、予算的には今一つである。新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、他のレジャーに分散している。3か月前と比べると、天候が比較的安定している分、やや良くなっている。
○	美顔美容室 (経営者)	販売量の動き	・キャンペーンセールが8月から始まり、その売上がある。
○	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・3か月前との比較では、少し改善している。
□	商店街 (代表者)	お客様の様子	・また新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していて高齢者層の動きが悪い。若年層は居酒屋等で消費活動をしているが、高齢者層は自粛が続いている。
□	商店街 (代表者)	来客数の動き	・週末以外の来客数も減少しておらず、商店街のにぎわいは順調である。ただし、客単価は相変わらず低く、売上は停滞している。
□	一般小売店 [高級精肉] (常勤監査役)	販売量の動き	・景気動向は余り変わっていない。
□	一般小売店 [結納品] (経営者)	販売量の動き	・小売業という業種のせい、景気は低迷している。
□	一般小売店 [生活用品] (販売担当)	販売量の動き	・外出に抵抗が無くなり来客数は増えているが、消費行動には結び付いていない。必要最低限の買物しかない。
□	一般小売店 [書店] (営業担当)	販売量の動き	・円安の影響が更に大きく現れてきた。
□	百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・来客数はそれほど減少しておらず、平日は60代後半から70代の夫婦連れの来店が多い。カジュアルシューズの売行きは良いが、ビジネスシューズは厳しい。カジュアルシューズは単価がそれほど高くないため数を売らないと売上が伸びないことから、全体では厳しい状態が続いている。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	お客様の様子	・来客数に余り変化はないが、値上げが毎月のように続いており、客は少しでも安い商品を購入している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	販売量の動き	・売上金額としては前年比100%を超えているが、数量は100%を割り込んでおり、かつ競合他社と比べると売り負け状態である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・朝晩涼しくなって、売れる物が変わってきた。売上は絶好調である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・来客数の減少を1品単価の上昇でカバーしている状況は3か月前から変化ない。商品価格の値上げによる1品単価の上昇であり、景気は停滞している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・土日になると家族連れ客の来客があり、買物籠を見ると購入量が多いことが分かる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月も引き続き好調な動きである。例年と異なり盛夏並みの暑さが続き気温が高いため、9月にもかかわらず飲料や酒類など夏物商材の販売がとても好調で、販売量全体を引き上げている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・1日当たり売上は前年を超えているが、物価が上がったことによって客単価が上がっているだけで、来客数は増えていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・インバウンドへの期待があったが、当店にはそれほど影響がなく、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	販売量の動き	・3か月前と比較して、来客数、客単価はほぼ横ばいで販売量も変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の節約志向や買い控えは続いており、その影響で作業服の売上は前年比95%となっている。価格の低いプライベートブランド商品への移行や、そもそも今年は購入しない事業者も増えている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	それ以外	・前月までは少し良くなってきていたが、余り消費が動かない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・ぜいたく品の消費がみられない。必要な物でも最低限の購入にとどまっており、景気が上向くほどの消費拡大にはなっていない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・最低限の買換え需要のみである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・物価高に客は敏感になっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・生活に直結するコストアップを身に染みて感じる場面が本当に増えてきた。こうなると消費の切詰めを考えざるを得ないため、大型商品購入への勧誘には関心を持ってもらえない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・少し生産が回復してきた感はあるが、来客数が減っている。客は納期が長すぎて買う気が起きないと言い、納期が早い旨を連絡してもしばらくは様子見をしている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半期決算でもあり、店舗の販売台数は目標に向けて順調に推移している。販売を停止していた車が1年ぶりに受注を再開したため、受注は前年並みに推移している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・夏を過ぎて、悪くはなっていないが良くもなっていない。客の雰囲気や販売量にも特に大きな変化はない。強いて言えば今月に入って来客数は減ってきている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の会話には、特別に良い話も悪い話も耳にしない。基本的には物価高の影響がある。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	それ以外	・光熱費、移動や買物のためのガソリン代、商品仕入れの全てにおいて値上がりばかりでどうにもならない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・今年4月に値上げをした商品のリピート率が下がっているため、全体で10%程度販売量が減少している。値上げした商品の売上は5%程度下がった。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前の6月は、社員旅行などの利用があり景気は少し良かった。9月の利用状況も、個人客、団体客共に6月並みで変わらない。

□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・ターミナル駅前の昼間帯は若い人も多くにぎやかだが、昼食時にはビル周辺に現れる弁当屋が活気を呈している。コンビニでもカップラーメンとおにぎり2個の節約派がレジで列を成している。食品などの値上げに消費税分も反映されて価格が上がっているのか、ますます昼食代が節約されている。
□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・今年も残り3か月となり、早くも年末年始や来年の旅行予約が徐々に入り始めた。スポーツや趣味の旅行は、完全に新型コロナウイルス感染症発生前の状況まで戻りつつあり好調である。ただし、国際空港からのハワイ線、欧州線は相変わらず運航未定、米国線も撤退したままで冬のスケジュールを迎える。まだ海外旅行客が少ないのか、それとも需要はあるが航空会社が対応できていないのかは分からないが、海外旅行を主力としている当社にとってはまだ厳しい。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・横ばいである。
□	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約者数はほぼ横ばいで解約数は微増と、余り良くない状況のまま推移している。
□	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新規申込みもあるが、廃止や他社移行の申込みもある。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も客数は戻りきらず、新型コロナウイルス感染症発生以前の85%前後で停滞気味である。通勤通学定期券の利用客のみ堅調である。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスとインフルエンザの感染者が増えているため、客の様子が良くない。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量に関しては横ばいが続いている。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・9月は上期締めのため数字は上がっているが、一過性である。
□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローンの金利が上がる傾向にあるなか、駆け込みで住宅購入の決断をする消費者がいるのかは分からない。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・最近ではこの悪い状況が普通になっている。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑や輸送価格の高騰等が原因で、仕入価格が前年と比べて10～20%程度高騰している。客の財布のひもは固く、必要な物だけを買う傾向にある。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・以前より食料品の値上げが続くなか、野菜の価格が高くなっており、1客当たりの買上点数が落ち続けている。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比95%台で、買上点数も前年割れの状況である。1品単価の上昇分だけでは前年並みの客単価を維持する程度である。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・9月に入れば多少は日中の暑さが和らぐかと思ったが、秋の気配が全くなく、昼12時過ぎから夕方までの来客数が低水準だった。野菜に関しては、夜の気温が下がらなかったため作物が成長しにくい傾向がみられ、トマトがふだんの5倍以上の値段になるなど非常に厳しい状況であった。
▲	スーパー（総務）	単価の動き	・相変わらず価格上昇により買上点数が減少している。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・9月も猛暑のため、飲料やアイスクリームの売上は伸びたがその他が振るわず、全体としては前年割れとなった。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・水道光熱費等の負担が厳しくなっている様子である。まだまだ値上げが続く状況では、買物を控えて自衛するしかない。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・来客数が前年の8割くらいで、ダイレクトメールにも余り反応がない。
▲	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響は大分薄れてきたが、まだ国際線の便数が回復していないため、海外旅行の需要が復活していない。

	▲	観光名所（案内係）	お客様の様子	・夏が始まる前の頃から状況は変わらず、街中の人通りは増えているように見えるが、店をのぞくだけの一見客が多く、恐らくもうかってはいない。
	▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・まだ暑いので客が来てくれない。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・前月、前々月と比べて、来客数がかなり落ち込んでいる。
	▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客からは景気の良くなる話は聞かない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・新たにできた商業施設の店舗も埋まらず、2年前にできた施設も出入りが激しく苦戦している。経済が回り始めてきたと思っていたが、まだ時間が掛かる。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・地域では複数の商店街で空き店舗が増えてきている。同時に空室期間の長期化も目立ってきている。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・お盆明け以降、飲食店への客の流れは新型コロナウイルスの感染拡大初期に匹敵するくらい悪い。新型コロナウイルス感染症の新たな拡大もあり、客は飲食店利用を控えている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・あまりの暑さと物価高が重なってなじみ客も一見客も来店がなく、秋物の販売時期が飛んでしまいそうである。
	×	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・問合せも少なく販売も全く良くなり、非常に悪い。9月にこれほど悪いのは初めてで、このままだと困ると思うほど非常に悪かった。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・ここ数日は少し涼しくなったが、この3～4か月は暑さのため出足が悪かった。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・暑さで住宅展示場への訪問者が少ない。また、暑さにより購買意欲も下がっているように見受けられる。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米、欧州共に、自動車だけではなく一般産業機器向け設備投資が復調してきた。引き合いも増え、受注率も上がってきた。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・海外向け新製品の効果が始まっている。
	○	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・客先の生産計画の数字が上向いており、新しい人材雇用が始まった。
	○	建設業（営業担当）	取引先の様子	・この時期になると見積依頼等が増え、実際に作業工程等の相談もある。年末に向けて段々と作業も忙しくなる。
	○	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・季節要因で増加する。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・物価が上昇しているが、コロナ禍の時期と比較すれば、流通、旅行やイベントなどサービス業を中心に回復している。
	○	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業では夜勤があるなど忙しい生産体制である。物価高の割に景気が悪いわけではなく、高いと言いつつも休日は遊びに出掛けたり、消費が減ることもない。
	○	会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店に客が戻ってきている。メニューの値段は上がっているが、その店だけでなく他の店、他の商品も値段が上がっていることから、敬遠されていない印象を受ける。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安の定着により仕事を国内へ転換しようとしても、なかなか人手が集まらず各社苦戦している。したがって、内製化が進まず円安が続く。評論家は円安に関するコメントをいろいろ言うが、人手不足のことは言っていない。自動化がますます要求され、当社にもいろいろな会社から問合せがある。
	□	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・売上は前年実績を上回っても、出荷ケース数では前年割れの商品が多く、消費動向は低調となっている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・消費の低迷、物価高、猛暑等のなかで売上は横ばいであるが、これは原材料の値上げ分の上乗せであり、生産量自体は減少しており、景気は余り変わらない。

□	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・半導体向け電子材料薬品の需要は、引き続き低調である。
□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・休日は人の往来が多く街の活況が続いている。物価高には閉口するが、時給引上げや賃上げも実行されており、消費を抑えながらも人的交流を楽しみたいという雰囲気が見受けられる。飲食店の割引期間中には長蛇の列が並んでいた。時間はあるため待ち時間はスマートフォンの時間にして、節約しながら消費する姿勢がみられる。
□	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・引き合いは多く、こなしきれぬ心配な状況が続いている。ただし、エリアとしては地元よりも他地域が比較的多い。価格転嫁が進まないことと収益がかなり圧迫されることから、必ずしも楽観できない。
□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界としては全体的に景気が良くなってきているが、原材料価格が高騰し、利益は余り出なくなっている。
□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・相変わらず円安、ガソリン価格の高騰やいろいろな物の値上がりの影響がある。
□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・立地、価格などのバランスの良い物件は契約が伸びているが、在庫物件の契約が伸びない。9月はこどもエコすまい支援事業の受付終了もあり、駆け込み需要があった。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・単純に受注量だけなら新型コロナウイルス感染症発生前くらいに戻っているが、増えているのは小口の仕事がほとんどで、大口案件は減っている。忙しきの割に売上額は伸びず、それ以上に各種経費が確実に増大している。賃上げも必要である。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・企業間の輸送物量が鈍化している上、燃料費等の高騰が利益を圧迫している。
□	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・取引先によると、半導体不足が次第に解消され、発注からそれほど時間が掛からずに納品できるようになった。しかし、現状は半導体不足の時期に受けていた注文をこなしているだけで、新規受注は減っている。半導体の供給が順調になっても新製品が売れない状況である。
□	金融業（従業員）	それ以外	・周囲の様子から3か月前と比較して余り変わっていない。物価の上昇は続いており、まだ景気としては厳しい状況である。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・原材料の価格高騰に加え、材料の納入が遅れることにより、今期の売上が見込めない状況が懸念される。利益面でも厳しく、ボーナス等での従業員への還元も難しい状況である。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多く、新型コロナウイルス感染症についての不安も更に解消していることから、前月同様に外出や遠出をする人は増加傾向になっている。外出等の増加に伴い、今月の売上は前年を上回る状況が続いている。
□	不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・原材料費の高止まりに加え、施工業者が不足しており、工事費が更に上昇する懸念はあるが、住宅販売価格の上昇は見込めない。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・9月に入っても猛暑が続いていたこともあり、チランやイベントの告知を打っても、外出を控える人が多かった。
□	公認会計士	取引先の様子	・コロナ禍からの回復や値上がりした原料の価格転嫁も進み、企業全体の収益は上がっている。3か月前との比較では大きな変化はみられないが、特に輸出産業では採算が改善傾向にある。
□	行政書士	それ以外	・燃料価格の高騰や2024年の改善基準告示で会社経営が厳しいと周囲の業者は言っている。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	それ以外	・近隣地場産業の受注量が非常に少なくなっており、出荷する荷物も少なくなっているため、地元の運送会社が営業に来た。
▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来製品は小ロット化されて1ロット当たりの生産量が減少し、月間で3割程度生産量が減少している。

	▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相次ぐ値上げの影響か、生活消費財の荷動きが前年を下回っている。自動車以外の生産財も、荷動きが悪い。
	▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・住宅ローンの固定金利の引上げや物価の上昇が続いている。買物弱者といわれる高齢者においても特に食料品への支出が多い人にとっては、食料品の値上げが与える影響は相当大きい。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、発注量共に本来であれば大きく伸びる時期であるが、今年は伸びるところか減少している。差引き20%ほどの落込みとなる。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシが減少している。
雇用関連	◎	—	—	—
(東海)	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・下期に向けての人員増強のため、派遣依頼や人材紹介依頼が増加している。
	○	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・新車販売台数は前年超えで推移し、生産体制も多忙となっているが人手不足の声を耳にする。最低賃金が過去最大の41円のアップで、中小企業においては非常に厳しい状況となる。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・2極化が更に進んでいる。新しいサービスやインバウンド関連などで好調な企業と従来型で厳しい企業との差が、同じ業界でも大きくなっている。全体的には、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、外食やレジャー関連を中心に需要が戻りつつある。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・夏季の繁忙期が落ち着き、余り変わらない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・景気は前月までと変わらない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・求人数は高止まりしつつも求職者数が増加しないため、業種、職種や勤務条件等により応募者数の格差が大きくなっている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・物価高騰に対して収入が上がっておらず、実質的な収入の減少が続いている。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・前年まで中止されていたイベントや催事の復活は好材料である。ただし、原材料価格高騰の影響もあるのか、広報など経費面にしわ寄せがきている。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・有効求人倍率は前年を上回ったが、新規求人数は前年比で減少している。建設業、卸売・小売業の減少幅が大きく、飲食サービス業では増加している。外食チェーン店、企業・学校等の施設内調理事業者からの求人が多く、小規模事業者からの求人は少ない状況である。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は3か月前と比べて微増、求人件数は微減であった。そのなかで輸送用機械器具製造業など製造業の一部やサービス業では増加がみられた。逆に減少した業種は、建設業、情報通信業、宿泊業、飲食サービス業であった。前月に続き人手不足が続いていることや猛暑が影響している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の総数を業種別に前年同月比でみると、製造業では7か月ぶりに増加、運輸業も4か月ぶりに増加、卸売・小売業も3か月ぶりに増加したものの、飲食・宿泊業では9か月ぶりに減少するなど、景気回復に一服感がみられる。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・引き続きキャリア採用を検討する企業は高止まりしている。ただし、採用における基準は比較的高くなってきている。
	▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・相変わらず値上げラッシュは止まらず、製造業だけでなくサービス業等も含め様々な場面で値上げによる影響がみられる。特にガソリンスタンドはその傾向が顕著に見受けられる。
	▲	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・前月に引き続き経理・総務などの事務管理部門、特に管理職の動きが鈍い。

▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・大型家電専門店や携帯電話販売店では、物価高に伴う買い控えや買換え時期を遅らせる動きが響き、販売が低迷している。この影響を受け電子部品製造業では生産が減少している。燃料や電気代の高騰による経費負担が増加している。また、建設業界は慢性的な人手不足の状態にある。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数は物価高騰の不安要素などから製造業を中心に緩やかな減少傾向が続く一方で、求職者数は緩やかな増加傾向が続いており、この状況が長期化している。
×	—	—	—